

元 100才を迎える方へ町長が長寿の祝い 気の秘訣は楽しいおしゃべり

「敬老の日」にあわせ、町内各地で祝賀行事が行われ、本年度町内で100歳を迎える6名の方に内閣総理大臣からの祝状や銀杯、町から記念品が贈られました。

このうち今年100歳になる景山睦恵さん(阿賀)は、農業をしながら子ども5人を育て、地域活動に積極的に参加してこられました。現在は「週2回、西伯病院の通所リハビリでおしゃべりするのが一番の楽しみです」と笑顔で話しました。また、同じく今年100歳になる長束元さん(円山)は大阪府高槻市出身。牛やニワトリを飼い、農業をしながら女手一つで子ども5人を育てました。「お嫁さんの作った料理がおいしいので、何でもたくさん食べます」と元気に話しました。

町長から記念品を受け取る景山さん(写真上)と長束さん



森谷校長から説明を受ける神戸大学渡部昭男教授と学生

地 神戸大学学生らが会見小学校を視察 域の方が子どもたちの先生です

9月11日に神戸大学から教授、学生など10人が会見小学校を視察に訪れ、コミュニティ・スクール(地域協同学校)について学びました。

当日は会見小学校の取り組みを紹介してもらい、学生たちは「地域が学校に参加するとはどういうことですか」「自分が教員になったら学校から地域を活性化させたい。具体的な取り組みを教えてください」など、森谷校長や小林会長に熱心に質問していました。

「会見小学校の印象は？」と聞くと「先生も常に子どもたちを見守っている感じがします。そして子どもも大人ものんびりしていますね。周りの風景も素敵ですし落ち着きます」と話しました。

本 教育の日条例施行5周年記念で文化芸術鑑賞 物の音楽と演技の迫力に「ブラボー！」

教育の日条例施行5周年記念事業の一環として9月18日、町内の小中学生が文化芸術鑑賞を楽しみました。

プラザ西伯では小学1～3年生を対象に、チャチャマゼル(島根県在住のピアノとヴァイオリン奏者)による音楽会が行われました。クラシックからテレビでよく耳にする曲まで幅広く演奏され、楽器の出す生の音に触れ、改めて音楽の素晴らしさを体感しました。

西伯小学校体育館では小学4～6年生と中学生を対象に、アーツ・カンパニー振興財団(役者、演奏家、舞台スタッフ等49名)によるオペラ『カルメン』が上演されました。西伯小学校の体育館が一瞬にしてオペラ座となり、本物の演技と音楽による舞台芸術の迫力に「ブラボー！」と歓声と拍手が沸きあがりました。



(写真上)3校が校歌を歌い合い会場が一体となりました
(写真下)町内の小学生8人が舞台上で演じる一幕もありました